

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ赤塚第二支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ここ最近では利用者が増えており少し狭く感じる。第2・赤塚でカリキュラムを分けたり、新店に向けて動いている。第2教室が狭く、利用者が自由に行動できない為、赤塚教室を利用している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			賃貸ということもあり増幅などが出来ない。まだ完全ではないが一つ一つMTやパートさんへの指導を通して一人一人のベクトルが向上向くように動いている。今後も継続していく。玄関に段差がある為解消する。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価を会社として行っていない。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			一人一人に引出が無い。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動に計画を立てていく必要がある。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			長期休暇になるとMTの時間が取りづらい。カリキュラムの打ち合わせを昼のMT等で行うようにしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		その日行われた支援について、できているときとできたいない時がある。出来ない場合次の日の昼のMTで行う。長期休暇になるとMTの時間が取りづらい。カリキュラムの打ち合わせを昼のMT等で行うようにしてい
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の中で情報共有と相互理解に努めているか	○		対外的なかかわり連携について、立場上（新入社員）あまり把握できていない。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	まだそういった児童がいない。 対外的なかかわり連携について、立場上（新入社員）あまり把握できていない。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		対外的なかかわり連携について、立場上（新入社員）あまり把握できていない。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	○		発表会などで関わりがある。 対外的なかかわり連携について、立場上（新入社員）あまり把握できていない。
	㉕	協議会等へ積極的に参加しているか		○	対外的なかかわり連携について、立場上（新入社員）あまり把握できていない。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		トレーニングのレベルには至っていない。助言にとどまっている。
保護者への説明的責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今はコロナでできていないが以前はしていた。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HP上にて。
	㉝	個人情報に十分注意しているか	○		
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
非常時の対応	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○		
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	㊵	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		